

国会闘争速報

2006年12月13日 第38号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkai tousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

成立阻止まであと一歩！

14・15日採決強行も、会期延長も許すな 現場労働者の力を信じて闘いぬこう

「私たちは、大きな危機の
夜にこの国会前に集まった。し
かし私たちは、教育基本法改悪
阻止の運動の中で大きな強い力
を得てきた。民衆の力を今こそ
示し、改悪案を廃案に追い込
もう。その時、危機が希望の前夜
に変わる。私たちの力を信じて



全国で廃案求める声

▼京都の龍谷大学で11日、全
専任教員の3割に上る121人
が教基法改悪案の廃案を求める
声明を発表した。憲法学者の山

内敏弘教授などが、教育行政に
よる中央集権的支配が進み、大
学の自治と学問の自由も覆され
ると批判し、廃案を強く求めた。
▼高知県では、調査に応じた
35市町村の教育長のうち、教基

闘いぬこう」。全国連絡会呼び
かけ人の三宅晶子さん（千葉大
学教授）は、12日夜の国会前集
会でこのように檄を飛ばした。

「教基法改悪をとめよう全国
連絡会」が呼びかけたこの日の
国会前集会には、1000人の
労働者市民が集まった。現場の
若い教育労働者の参加も少なく
ない。どの発言も闘いの意欲に
あふれ、絶対に負けないぞとい
う気持ちが伝わってくる。

この日開かれた中央公聴会の
公述人に立った埼玉大学教育学
部の学生は、教育改革と称して
教員や子どもを排除する攻撃が
加速していることに危機感を
持つて公聴会に応募した、教基
法改悪には誰も納得していない
んだと思いつきり言ってきたと
発言し、大きな拍手を受けた。

呼びかけ人の大内裕和さん
も、「今回の教基法改悪は格差
社会の固定化につながると断言
してきた。公聴会とは意見を聞

法改悪に積極的に賛成する教育
長は皆無という結果が出た。逆
に「戦前のような国家統制によ
る国民にものを言わせぬ教育は
絶対に許されない」との声が相
次いだ。

いて審議内容に生かすというの
が趣旨なのに、すぐに採決する
のはまったくおかしいと強調し
た」と、公述人として存分に意
見してきたことを報告した。

東京教組の代表は、「10月20
日から毎日座り込みを続けてき
た。与党議員から『ジベタリア
ン』と誹謗されたが、子どもた
ちはわかってきている。正義
はわれわれにある。最後まで闘
いぬく」と表明した。

国会に向かって、そして首相
官邸に向かって、怒りのシユプ
レヒコールが響き渡った。

共謀罪も葬り去ろう

冷たい雨が降る中、リレー
ハンストが貫徹された。共謀罪
反対の共同行動も終日闘いぬい
た。都高教も座り込みを闘った。
昼休みのジョイント集会では、
「共謀罪の審議入りを阻止して
いるのは偉大なこと。法案をポ
ロボ口状態に追い込んでいく。
完全に葬り去るまで闘いぬく」
ことが表明された。

衆院法務委員会は12日も流会
し、13日はない。他方、参院教
基法特別委は13日午後的一般質
疑が決まった。14、15日の採決
阻止へ、総力を集中しよう。

●ハリスト者Kさん
日教組も前半は座り込みしていたが、後半はやめてしまった。この法案は日教

組をつぶそうとするもの。8日の緊急集会は本当によく集まっていた。みんなやる気で一杯だった。でも野音の通路ごとに防衛隊が立っていた。森越委員長の開き直りが許せなくて野次を飛ばしたら、その防衛隊が妨害してきた。組合員の生の声をちゃんと聞けないような組合ではダメだ。私も廃案までがんばる。

●共謀罪署名運動Oさん
マスコミは死んでいる。だからネット

で動画を配信することが大事だと

処分取り消しで提訴へ

都の教育労働者が来春に

向け、新たな闘い開始

「君が代」斉唱時の不起立・不伴奏で不当な懲戒処分を受けた都の教育労働者が、処分の取り消しと国家賠償を求めて大原告団を結成します。10日に開催された都内での集会で発表されました。結成総会は23日。予防訴訟での9・21勝利判決にもかかわらず、都の人事委がこれを頭から無視する態度を

思い、ヒューマンチェインなど7つのファイルをアップした。そしたら9日にある有名なブログで紹介されてアクセスが殺到、3日間で6万人が見た。インターネットを通じて安倍政権への怒りが高まっている。ぜひ活用してほしい。

●都高教Uさん

日教組が座り込み闘争をやめている中で、都高教は毎日2時間ですが座り込みを続けている。しかし組合の指示にただ従ってやっているのではダメだ。組織防衛を考慮した方針だけでは、この教基法改悪攻撃に勝てないと思っている。それを超える闘いを、現場の組合員や教職員が積み重ねていくことだ。都教委が「日本史の期末試験を提

強めている中で、人事委の裁決を待たずに提訴に踏み切ります。

安倍政権は教基法改悪の狙いが9・21判決を覆すことにあると公言しています。政府・自民党が最も恐れているのは来春卒・入学式での不起立闘争の爆発です。不当な職務命令に従う義務などもはや一切ないことを、現場で実力でたたきつけることこそが決定的です。被処分者による新たな提訴は、これと一体のものとして闘われようとしています。

東京での闘いと連帯し、全国で来春への闘いを進めましょう。

出せよ」と言ってきた。これは教基法改悪を先取りする攻撃。これとの闘いも重要だ。

●全国連絡会Iさん

初めて国会の中に入って傍聴した。都教委の委員長が「家庭教育が盛り込まれたのがよい。戦前は家庭教育の力があつたが、今はなくなっている。その再生が重要だ」「外国に行った時、仏教のことを聞かれて答えられない日本人がいるが、それは日本人として恥ずかしい」などと述べていた。とんでもない発言だと思った。外の声の中に聞こえて感動した。

●都教委包囲ネットKさん

教育基本法をなぜ変えるのか、政府



教育労働者や学生を先頭に、雪の降る中、仙台市内の繁華街をデモ（9日）

与党は答えていないし、答えられない。それは、私たちを納得させるものがないからだ。本音は資本、財界の要請によるもの。核心は第10条を変えること。そのことにより、資本に都合のよい「教育」になるからだ。愛国心教育も可能になる、「つくる会」教科書の採択も可能になるといふことだ。それに抵抗する教職員を排除できる体制にするのが改悪の狙いだ。日の丸・君が代の強制と処分がそれ。不起立を貫いてきた人たちこそ、最も子どもや教育のことを真剣に考えてきた人だ。そういう人たちを排除するのが改悪攻撃だ。この闘いは、教育だけの問題ではない。社会の行く末を未来を決める闘いだ。がんばろう。

行動予定

- 国会前座り込み
- ハリスト者、連日の9～18時
- 東京教組、連日の16～18時
- 都高教、連日の14～16時
- 北海道教組、13～15日の連日
- 全国連絡会、14～15日の9～17時
- 百万人署名運動、連日の正午～16時
- 13日（水）17～18時、「ヒューマン・チェイン」
- 14日（木）14～19時、教基法改悪・共謀罪阻止の国会行動（主催：11・5労働者集会実行委）／18～19時、国会前集会（主催：全国連絡会）
- 15日（金）教基法改悪・共謀罪阻止の国会行動（主催：11・5集会実行委）